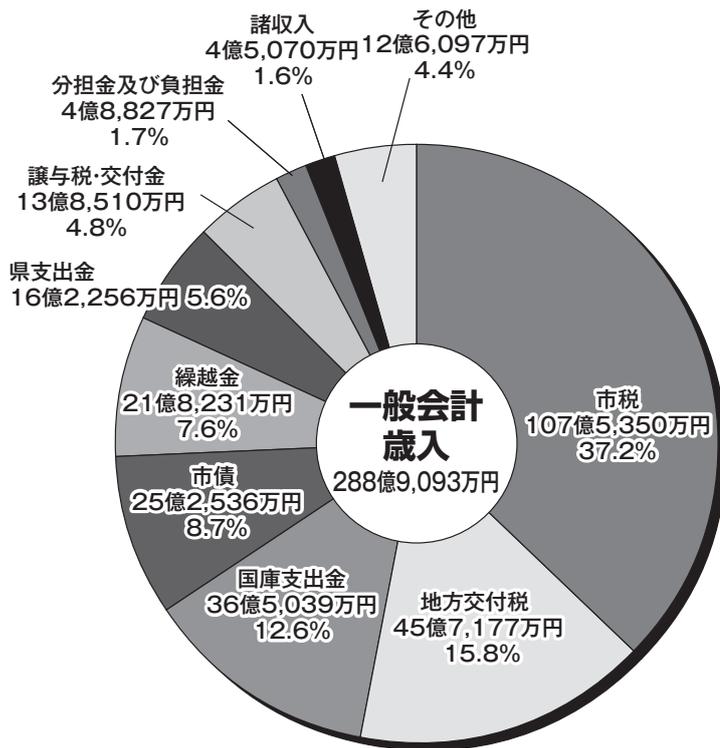


決算概要

★財政課 ☎1163

市民一人当たりの市税の負担 合計 133,292円

※平成24年4月1日現在の総人口80,676人で計算



市税の内訳

市民税	45億 301万円
固定資産税	49億1,580万円
都市計画税	6億 342万円
市たばこ税	5億7,924万円
軽自動車税	1億5,203万円

歳入は、前年度と比較して、地方債、国庫支出金、繰入金、自動車取得税交付金、地方消費税交付金などが減となったものの、固定資産税をはじめとする市税や、県支出金、地方交付税などが増えたことにより、総額は8億3,306万円（3.0%）増の288億9,093万円となりました。

歳出は、「本庄早稲田の杜づくり」に関連する事業、小学校施設整備事業、本庄東中学校建設事業の実施や、施設整備等基金への積み立てなどにより、総額は前年度と比較し9億3,327万円（3.6%）増の268億884万円となりました。

また、歳入歳出差引額は20億8,209万円となりました。

●特別会計歳入歳出決算額

特別会計は、特定の事業を行うために、一般会計と区分して経理される会計です。

会計名	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
国民健康保険	88億2,892万円	87億8,896万円	3,996万円
公共下水道事業	22億1,520万円	22億1,219万円	301万円
住宅資金貸付事業	1,283万円	1,190万円	93万円
児玉南土地区画整理事業	2億4,371万円	2億4,341万円	30万円
農業集落排水事業	1億 189万円	1億 94万円	95万円
介護保険	46億3,303万円	45億8,002万円	5,301万円
後期高齢者医療	5億9,919万円	5億9,884万円	35万円

●水道事業会計

水道事業は、企業会計となっています。

区分	収入決算額	支出決算額	収入支出差引額
収益的収支	14億7,284万円	12億3,213万円	2億4,071万円
資本的収支	8億3,326万円	15億7,600万円	△7億4,274万円

※収入決算額及び支出決算額に仮受消費税及び仮払消費税を含みます。

※資本的収支不足額は、内部留保資金で補てんしました。

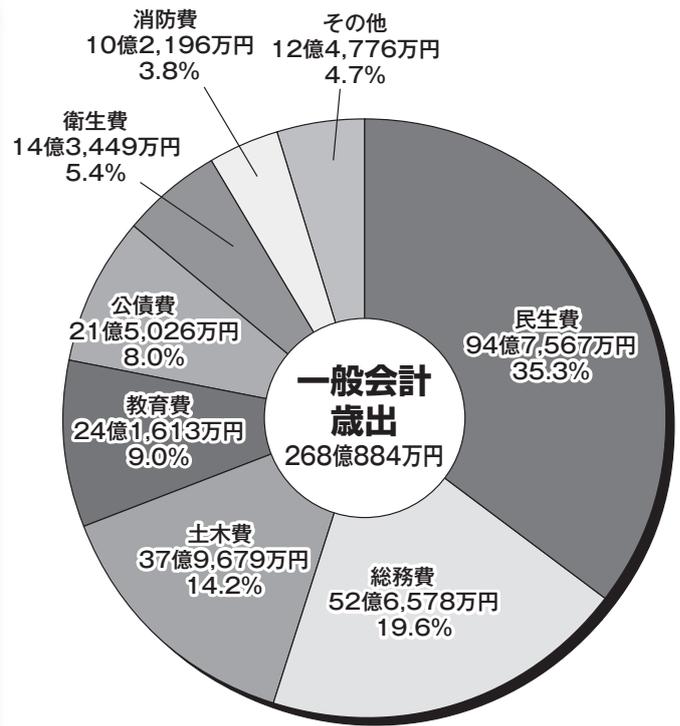


平成23年度

市民一人当たりにお金 合計 332,303円

項目	内容	金額
民生費	高齢者や児童、障害者等の福祉の推進など	11万7,453円
総務費	住民窓口、課税徴収、交通安全など	6万5,271円
土木費	道路や公園などの公共施設の整備など	4万7,062円
教育費	学校教育の充実、文化・スポーツの推進など	2万9,949円
公債費	市が借りたお金の返済金	2万6,653円
衛生費	健康増進やごみ処理費など	1万7,781円
消防費	消防や防災対策など	1万2,667円
その他	議会費、農業の振興、商工業の振興など	1万5,467円

※平成24年4月1日現在の総人口80,676人で計算



●市有財産の状況（平成23年度末）

公有財産	土地	1,803,534㎡
	建物	221,160㎡
	有価証券（テレビ埼玉株券ほか）	1,650万円
	出資による権利	12億2,160万円
基金		46億4,803万円
	うち財政調整基金	24億1,137万円
債権	入学準備金貸付金等	2,892万円

市民一人あたりの基金の状況 57,614円

●市債残高の状況（平成23年度末）

一般会計	211億7,260万円
土木債	48億4,958万円
教育債	24億3,608万円
総務債	7億1,616万円
民生債	4億1,453万円
公営住宅債	2億3,671万円
農林水産業債	1億4,643万円
その他 臨時財政対策債※など	123億7,311万円
住宅資金貸付事業特別会計	1,722万円
児玉南土地区画整理事業特別会計	8億2,573万円
公共下水道事業特別会計	86億2,645万円
農業集落排水事業特別会計	6億5,114万円
水道事業会計	44億2,049万円
合計	357億1,363万円

※臨時財政対策債とは、国の地方交付税として交付すべき財源が不足した場合に、普通交付税の代替措置として地方がその財源不足を補てんするため特例的に認められた地方債です。

市民一人あたりの市債の状況 442,680円



▲「本庄早稲田の杜づくり」関連事業（薬師堂公園）



▲小学校施設整備事業（本庄東小学校新校舎）